

2 月度業務報告

(一社) 中国地域ニュービジネス協議会  
山内

(I) 2 月度 主要イベント

- 2 月 4 日(火)、備後支部役員会開催
- 2 月 5 日(水)、中国地域ニュービジネス大賞(NB大賞)一次審査会開催
- 2 月 12 日(水)、山口支部役員会開催
- 2 月 12 日(水)、鳥取支部役員会開催
- 2 月 13 日(水)、山口支部催事開催
- 2 月 19 日(水)、島根支部役員会開催
- 2 月 20 日(木)、岡山支部役員会開催、岡山支部催事開催
- 2 月 25 日(火)、広島支部催事開催
- 2 月 26 日(水)、広島支部役員会開催
- 2 月 28 日(金)、広島支部女性部会次年度企画会議開催

(II) トピックス

(1) 中国地域ニュービジネス大賞(NB大賞)一次審査会開催

一次審査会を開催して、二次審査(プレゼンテーション審査)に通過する企業を選定しました。審査委員の方々に事前に書類審査頂いた結果を一覧表にまとめた上で審査委員が一堂に会して、二次審査で、もう少し申請内容を確認したい企業を選定しました。

3 月 4 日は岡山、3 月 5 日は広島で、二次審査(プレゼンテーション審査)を実施します。この結果を受けてさらに現地ヒアリングを 3 月中旬に審査委員と事務局員で行います。その結果を受けて、4 月 6 日に最終審査にて受賞者候補決定の予定です。審査委員会の検討結果を、4 月中旬に表彰委員会に上程いたします。

【一次審査会の様子1】



【一次審査会の様子2】



(2) 山口支部催事開催

当初、定員を 25 名としておりましたが、最終的に総勢 31 名の方々にご参加いただきました。午前の部として、(株)八天堂の「広島みはら臨空工場」を見学させていただき、「八天堂カフェリエ」でのランチタイムの後、同社代表取締役社長である森光孝雅氏に、経営理念である「良い

品 良い人 良い会社づくり」に沿いながら、ご講演いただきました。

工場見学では、原材料である生地やクリーム of 製造から、パンを焼く、クリームを注入するなどの工程を経て、最終製品に至るまでの一連の流れを見学させていただきました。八天堂のくりむパンは、「シュークリームのように、焼きあがったパンに後からクリームを注入する」という説明に、参加者の多くの方が驚かれておりました。

講演会では、(株)八天堂が現在に至るまでの紆余曲折を森光社長ご自身からお話いただきました。大変苦しい時代をどのように乗り越えてきたのか、そして現在、何故に「良い品 良い人 良い会社づくり」を経営理念に掲げ、どのような将来像を描いているのかを、とても熱く語っていただきました。「こんなに熱い講演は久しぶりに聞いた。もっと多くの人に聞いてもらいたいと思う内容だった。」等、多くの参加者から大満足の感想をいただきました。

【工場視察前の説明会】



【森光社長のレクチャー】



【工場視察】



### (3) 岡山支部催事

かつて観光客などほとんど訪れる事のなかった町を10年がかりで活性化し、年間35万人の観光客を呼び込むようになった岡山県小田郡矢掛町の街作りの視察に伺いました。

活性化の仕掛け人は、(株)シャンテの社長の安達精治氏です。最初に町の見学会を実施し、続いて、安達社長に講演して頂きました。演題は「矢掛屋からADタウン矢掛町へ」。

見学会は、矢掛街並み案内人お二人のガイドにより、「石井家住宅見学コース」「街並散策コース」の2班に分かれ、実施しました。街並みは、江戸時代の宿場町にタイムスリップしたような印象で、本陣、脇本陣が手入れをして残されています。古民家を丁寧に改修し、歩いて楽しい街が再生されておりました。

ADタウンとは、イタリア語のアルベルゴ・ディフーゾの頭文字をとっているそうです。イタリアの過疎高齢化が進む地域で誕生した分散型宿泊施設をアルベルゴ・ディフーゾと呼ぶそうです。町全体を一つのホテルに見立て、古くから町に点在する空き家などを活用し、地域ぐるみで観光客を呼び込み、活性化を図る取り組みです。安達社長は、その取り組みをベースに、日本のかつての宿場町である矢掛町に着目され、地道な努力の積み重ねで、2018年に日本初のアルベルゴ・ディフーゾ・タウンに認定されました。本館、温浴別館、あかつきの蔵など5つの宿泊拠点を設け、観光客を町に回遊させ、地域ぐるみでの発展を目指しておられます。

矢掛屋が誕生して今年で5周年ですが、最初は、よそ者扱いされていたそうです。諦めないで、地域の人と腹を割った話し合いを根気強く継続し、10年かけて理解してもらったそうです。

街づくりは、行政の協力が不可欠で、安達社長はうまく行政とも連携されておられますが、首長が変わると行政の方針が激変することがあり、街づくりが進まなくなることがあるそうです。このため、行政とは適度な距離を保ち、仕掛け人が行政から頼られるような形となるのが望ましいと話しておられました。

【安達社長の講演会】



【講演会後の懇親会】



【安達社長と懇談会】



#### (4) 広島支部催事開催

ソチ五輪銀メダリストの「竹内智香選手講演会 & トークセッション」を開催しました。総勢 102 名様のご参加を頂きました。竹内選手に、「ニュービジネスを生み出す”原動力”について」と題して一時間あまりのご講演を頂き、その後、中国NBC広島支部長であるオタフクホールディングス(株)社長の佐々木茂喜氏とおよそ一時間のトークセッションを行って頂きました。

講演会では、竹内選手が出場された 5 回の冬季オリンピック経験からご自身が学ばれたことを紹介頂きました。14 歳でオリンピックに出ると決め、そのために今何をすべきかを考えたそうですので、14 歳時点ですでにただ者ではないのですが、その後もオリンピックの出場経験を重ねるごとに学習し成長を続けられた様子が、講演からよく分かりました。また、スイスのナショナルチームに入れてもらうために(通常ではありえない)、何度断られても粘り強くお願いしてとうとう練習に参加させて頂いたエピソード、資金を稼ぐためにスイスではベビーシッターもされたこと等、スポーツ以外の側面も丁寧に説明してくださいました。まさに個人事業主でした。

超多忙な佐々木支部長ですが、事前にA4二枚のメモを準備して、トークセッションに臨まれました。入念な下調べで、「暗い人は応援してもらえない」、「常にポジティブな表現を口から出すようにしている」、「目標からバックキャストिंग」などなど、トークセッションで竹内選手のすごさをさらに引き出して頂きました。

前例のない世界に挑戦され続ける竹内選手の生き様は、まさに、ニュービジネスに挑戦される経営者に通ずるものが大いにあり、大変良質な刺激を参加者の皆様に提供できたと自画自賛しております。

【佐々木支部長開会挨拶】



【竹内選手の講演】



【トークセッション】



#### (5) 支部役員会

3 月の理事会に向けて、各支部で次年度の活動家計画を作る必要があり、備後、山口、鳥取、島根、岡山、広島、すべての支部で支部役員会を開催しました。細川会長に年初に決めて頂いたスローガン、「あれか…これか…迷うことなく、あれにも…これにも…挑戦しよう！そこに進歩があり、発展がある」を基本に、事務局で作成した活動方針、基本戦略を紹介し、各支部の実情に応じて大まかな年間の活動計画を支部ごとに練って頂きました。この結果は 3 月の理

事会で計画書にまとめて提出いたします。2月に各支部において支部役員中心で次年度の活動計画を検討して頂く流れが定着してきました。(支部役員会の様子を撮影していたのは岡山支部だけでした)

#### 【岡山支部役員会の様子】



#### (6) 広島支部女性部会次年度企画会議

次年度の広島支部女性部会催事の企画会議を開催しました。支部役員会と同様に、次年度の基本方針を事務局より説明し、さらに、広島支部、佐々木支部長の方針も説明して、「広島支部オリジナルのワクワクするような体験型の催事を行う事で、スタートアップ企業のようにイノベーションを起こせる催事、他の団体と差別化できる催事」を企画していく事になりました。年7回くらいの女性部会催事を行う事となりました。

また、牛来女性部会長より部会長交代の提案がなされ、廣瀬副部会長が新広島女性部会長に就任されることが決まりました。

#### 【広島支部女性部会次年度企画会議】



#### (7) その他

##### ① SOERU受賞者支援活動

第3回 SOERU 優秀賞受賞の(株)Nライフケア 代表取締役 永末加奈絵さんが中小企業庁主催の「Japan Challenge Gate 2020 ～全国ビジネスプランコンテスト～」のファイナリストに選ばれ、2月18日の最終審査会でプレゼンされました。プレゼンに先立ち、永末さんの事務所と中国NBC事務所をスカイプで繋ぎ、ボランティアの中小企業診断士の方々にプレゼンテーションの指導をして頂きました。受賞には至りませんでした。100名を超える全国の応募者の中からベスト8に残られたのは素晴らしい事だと思います。反省点は、指導する先生の数が多いいろいろな意見が出ていたので、永末さんが戸惑われたかもしれません。次回からは、指導いただく先生方の数を絞ります。

##### ② 中国NBC役員交代

細川会長が二期4年会長を務められ退任の意向を表明されております。また、副会長の宮地備後支部長も副会長退任(副会長を10年務めて頂きました。理事では残って頂けます)の意向を表明されております。お二人とも退任の意思が固いので、これ以上の引き留めは難しいので、後任者の選定を進めます。長い間、ありがとうございました。

#### (8) 2月度雑感

2月25日の広島支部催事は何とか催行でき、交流会も立食形式で開催できました。その後、新型コロナウイルスの影響が徐々に国内にも広がり、3月末時点ではパーティー開催不可はもはや当然になり、中央政府で緊急事態宣言が議論される段階まで来ました。中国NBCとしては、6月3日の総会開催が非常に心配ですが、細川会長と相談の上、現時点では交流会はなしで総会とNB大賞の表彰式は開催する方向で事務局は動いております。国から新たな指針が出ましたら、その都度見直しますが、今後は会場ホテルのキャンセル料が発生します。

以上